

12月の 園便い



30年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子

高校生になった卒園児のお母さんからこんなメールをいただきました。

今朝、食卓に赤いりんごがボンとおいてありました。
朝食をとりながら 息子とそのリンゴのへたを持ってくるくる回し「おもしろい」とにっこりしていました、そして、そのリンゴを元通りにぽん、とおいて「ろうそくが立つんだよ。」とひとこと・・・
それを聴いて本当にびっくり。アドベントのことを覚えていたのです。
「らせん状じゃなかったっけ？めっちゃ綺麗だった。」思春期男子ですから、いつも言葉は本当に少ないのですが、リンゴも、らせん状のあのアドベントの様子も、両方とても綺麗だったと言っていました。今日おいてあったリンゴは、アドベントに使ったりんごのように真っ赤ではなく、やや色の薄い小ぶりのものだったので、どうして思い出したのか聴いたところ、自分でも首をかしげながら「匂いかな？」と・・・
子どもの五感は本当にすごいんだな～と思いました。最後のアドベントの庭から数えてもうすぐ12年。たくさんの刺激でどんどん小さいときのことは忘れるらしいですし、卒園後アドベントに参加したことはないのですが、息子の記憶には、アドヴェントの庭がしっかり残っているのだと思ったら、本当に嬉しくてメールしました。

幼児期の思い出は、表面的には次第に薄くなって消えていくようですが、思い出は無意識の中に入っていくのだらうと思います。そして、メールにあるように、ある日ふっと何かのきっかけで思い出すのですね。卒園児さんは、りんごを手にとってくるくる回していたら・・・りんごの匂いを感じて・・・りんごろうそくが浮かんできて・・・渦巻きもろうそくの光の美しさもよみがえってきたようです。幼児期の子どもの心にはアドヴェントの庭がきちんと刻まれていたことがわかって、とても嬉しいです。

青陵のクリスマスは、にぎやかさはないのですが、光の体験ができます。静かな部屋に響くグロッケン音の音も印象に残ることと思います。感覚でものごとを捉えていく幼児期ですから、五感で感じる上質な体験をたくさん重ねて欲しいと思っています。

現代は、音も色もあふれていて刺激がたくさんです。静かな環境は意識して作らなければ体験することができなくなっています。アドヴェントの庭ではグロッケン音の音だけが響く静けさの中で、美しいろうそくの光に包まれます。ろうそくの光は、生きているかのように揺れ動き、二重、三重の光の輪が見えます、その美しい光をみながら、子どもたちは自分の内面を見つめることができるかもしれません。子どもたちの心に刻まれる“アドヴェントの庭”がもうすぐです。

12月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	土	×	11:30	自由登園日	
2	日	/	/		
3	月	○	2:00		
4	火	○	2:00		
5	水	×	11:30	誕生会です、12月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。	
6	木	○	2:00		
7	金	○	2:00		
8	土	/	/	第2土曜日	
9	日	/	/		
10	月	○	2:00		
11	火	○	2:00		
12	水	○	2:00		
13	木	○	2:00		
14	金	○	2:00		
15	土			アドヴェントの庭を行います。詳細はお便りをご覧ください。	
16	日	/	/	第2土曜日	
17	月	○	2:00		
18	火	×	11:30	個人懇談会を行います。詳細は各クラスのお便りをご覧ください。	
19	水	×	11:30	〃	
20	木	×	11:30	〃	
21	金	×	11:30	終業式です。	
22	土	/	/	第4土曜日	
23	日	/	/	勤労感謝の日	
24	月	/	/	第4土曜日	
25	火	/	/	冬休み 星の子は行います。	
26	水	/	/	星の子は行います。	
27	木	/	/	星の子は行います。	
28	金	/	/	星の子は行います。	
29	土	/	/	冬季休業	
30	日	/	/	〃	